

春のクラシック路線で通用する
素質馬をピックアップ！！

若駒分析ナビゲーション
2009 年クラシック世代
前半戦指数公開

著：スカイポット

はじめに

あけましておめでとうございます。若駒分析ナビゲーションのスカイポットです。1月初頭時点での若駒の指数公表を今年は若駒ナビのサービスとして行います。

元々は私が発行してきたメルマガで読者の方から、現状の指数上位馬を見たいというメールが届いたことから始めたもので、4年前に指数上位と示した馬たちがクラシック路線の重賞を席捲したことから、毎年無料レポートの形で公開し、ご好評を得ているものです。どのような結果が得られていたかは昨年の無料レポートの「年始指数の意義について」(若駒ナビ紹介ページにリンクあり)で紹介していますので、ご興味があればご覧ください。

今回も、年末までに出了レースの指数を、中距離路線(1800m以上)、マイル路線(1500~1700m)、短距離路線(1400m以下)に分類し、それぞれの上位馬を、中距離路線から上位20位まで、マイル路線から上位20位まで、短距離路線から上位10位まで公開する形をとります。なお、順位は距離と指数の関係が同じクラス(級)である馬は同順位とし、上積みリスク(★)は便宜的にプラス2で順位付けします。

指数は 1200mで65ポイントの場合、1400mで62級、1500mで61級、1600mで60級、1700mで59.5級、1800mで59級、2000mで58.5級に相当します。私が開発した天星指数は距離が延びるほど数値が下がる設定となっています。

これにより、例えば 1800m64の馬と 2000m63.5の馬は同順位、1800m62★の馬は 1800m64の馬と同順位になります。

ちなみに、過去4年のクラシック三冠における1~3着の36枠中27枠(75%)が年始指数上位馬であり、5枠が未出馬。ここまでで約89%の占有率となり、それ以外の馬がクラシックで馬券になるケースはかなり少ないという傾向が表れています。今年の場合でも現時点で、クラシックで馬券に絡める馬の多くは現れていて高い指数を出していると推測されます。

◎若駒 09 世代前半戦指数公開

説明は大体終わっていますので、早速今年の指数上位馬をご紹介します。

今回は、ほぼ例年通り、①中距離(1800m以上)、マイル(1500~1700m)、短距離(1400m以下)の三路線に分ける、②中距離路線とマイル路線の各上位20頭及び短距離路線の上位およそ10頭をピックアップする、③指数は12/28までのものを採用、とします。

同じ馬が複数の路線にピックアップされた場合は、順位がより高い路線にて番号を振るものとします。ただ、番号を振らない路線においてもいる場合は名前だけ挙げておきます。

☆中距離路線(1800m以上)

順位	馬名	指数	距離	指数時レース
1位	ロジュニヴァース	66.7☆	2000m	ラジオ NIKKEI 杯1着
2位	リーチザクラウン	66.3	1800m	未勝利戦1着
	ブエナビスタ	60.9★\$	1800m	新馬戦3着
	アントニオバローズ	60.9★	1800m	新馬戦2着
3位	イグゼキュティヴ	61.9	1800m	札幌2歳S2着
4位	ショウナンアルディ	61.8S	1800m	中京2歳S2着
5位	リクエストソング	61.7S	1800m	未勝利戦1着
6位	トゥリオンファーレ	61.1	2000m	ラジオ NIKKEI 杯3着
6位	マツハヴェロシティ	61.1	2000m	ラジオ NIKKEI 杯4着
	モエレエキスパート	61.3	1800m	札幌2歳S3着
8位	ナカヤマフェスタ	61.2N\$	1800m	東スポ杯1着
8位	トーセンジョーダン	60.7	2000m	ホープフルS1着
10位	タイフーンルビー	60.9	1800m	未勝利戦1着
11位	レッドフォーリア	60.7S	1800m	未勝利戦2着
12位	ブレイ克蘭アウト	60.2N\$	1800m	東スポ杯2着
13位	セイクリッドバレー	59.6NS	2000m	葉牡丹賞2着
	ホッコータキオン	60.0	1800m	野路菊S1着
14位	プロスアンドコンズ	59.6	1800m	野路菊S2着
15位	サンライズキール	59.0N	2000m	未勝利戦1着
16位	タキオンクール	59.5S	1800m	中京2歳S3着
16位	エストシャイン	59.5'.	1800m	未勝利戦1着
18位	ハシッテホシーノ	58.9'.	2000m	未勝利戦1着
19位	メイショウドンタク	59.3S	1800m	中京2歳S1着

20位	ダノンカモン	59. 2N\$	1800m	東スポ杯4着
-----	--------	----------	-------	--------

ロジュニヴァース、リーチザクラウンが他馬を大きく離してのワンツー。ただし、ブエナビスタ、アントニオバローズはマイル以下での指数を見れば、上位2頭とも戦えるくらいの馬ですから上位4頭が抜けている感じです。血統的にはそれぞれの父がネオユニヴァース、スペシャルウィーク、マンハッタンカフェと地味なSS直仔ながらも距離延長は向くでしょうから昨年と比べれば不安は少ないです。

20位に入れなかった馬では、エオリアンハーブ、サンカルロ、モンテウルヌソル、ジェルミナル、アラシヨヨブオトコ、ハギノバロンドール、ロイヤルロード、オオトリオウジャ、ケイアイライジン、ナリタブラチナ、アーリーロブスト、ファミリズム、アンライバルド、ティアップゴールド、ミッキーパンプキン、キングスレガリア、ダノンヒデキあたりまで紹介しておきましょう。

☆マイル路線(1500m～1700m)

順位	馬名	指数	距離	指数時レース
1位	ブエナビスタ	67. 3☆	1600m	阪神JF1着
2位	セイウンワンダー	66. 6NS	1600m	未勝利戦1着
3位	ダノンベルベール	64. 2	1600m	阪神JF2着
4位	ホッコータキオン	63. 8NS	1600m	朝日杯FS4着
5位	モエレエキスパート	63. 7	1500m	クローバー賞
6位	ツーデイズノーチス	63. 3S	1600m	未勝利戦2着
7位	マイクロコスモス	62. 8	1600m	阪神JF3着
	バンガロール	62. 6N'.	1600m	新潟2歳S3着
	フィフスペトル	62. 3NS	1600m	朝日杯FS2着
8位	ツクバホクトオー	62. 1N'.	1600m	新潟2歳S2着
9位	ナンヨーアイドル	61. 7	1600m	ベゴニア賞2着
10位	パールシャドウ	61. 5	1600m	ベゴニア賞1着
11位	ショウナンカッサイ	61. 5	1600m	阪神JF4着
12位	エイシнтаイガー	61. 5N'.	1600m	新潟2歳S4着
	ブレイ克蘭アウト	61. 4NS	1600m	朝日杯FS3着
13位	ミッキーパンプキン	61. 3NS	1600m	朝日杯FS6着
14位	ドナシュラーク	60. 8	1700m	きんもくせい特別1着
15位	マイネルソレント	61. 0NS	1600m	未勝利戦1着
	セイクリッドバレー	60. 5NS	1600m	未勝利戦1着

16位	ストロングリターン	60.4	1600m	未勝利戦1着
17位	カヴァリエ	60.3N	1600m	新潟2歳S5着
18位	シェーンヴァルト	60.2	1600m	デイリー杯1着
18位	イナズマアマリス	60.2	1600m	阪神JF5着
20位	メジロチャンプ	60.1	1600m	ひいらぎ賞1着

2位のセイウンワンダーは朝日杯で62に指数を落としており、指数が復帰するのかわかりませんので、ブエナビスタが1頭抜け出している状況です。

20位よりも下では、エオリアンハープ、ディアジーナ、アンプレシヨニスト、アカリ、マジックシアター、カウアイレーン、ダノンカモン、ダブルレインボー、ケイアイライジン、サンカルロ、キングスレガリア、ピースピース、ジェルミナル、カツヨトワイニング、シゲルキリガミネ、カイシュウボナンザ、マイネルエルフ、エイブルインレースなどがいます。

☆短距離路線(1400m以下)

順位	馬名	指数	距離	指数時レース
1位	アントニオバローズ	68.5	1400m	未勝利戦1着
2位	フィフスペトル	70.5	1200m	函館2歳S1着
3位	ツルマルジャパン	66.7N	1400m	マリーゴールド賞1着
4位	ナムラミーティア	69.0	1200m	函館2歳S2着
5位	ゼットオーラ	65.9	1400m	未勝利戦2着
6位	バンガロール	65.1N	1400m	マリーゴールド賞2着
7位	デグラーター	68.0	1200m	小倉2歳S1着
8位	ゲットフルマークス	64.6	1400m	京王杯2歳S1着
9位	ストロングガルーダ	64.5☆	1400m	くるみ賞1着
10位	スガノメダリスト	67.5	1200m	クリスマスRS1着
10位	オメガユリス	67.5	1200m	福島2歳S1着

短距離路線は、既に上位から姿を消しつつあるツルマルジャパンやデグラーターが残っているようにクラシックには直結しにくい路線ですが、延長向きの血統の馬は活躍できる可能性がありますから注意はしておいたほうが良いでしょう。昔、セントルイスガールがその後400万馬券に絡んだのに買ってなくて悔しい思いをしたことがあります。

○若駒 09 世代ピックアップ馬紹介

1. ブエナビスタ 牝

父: スペシャルウィーク

母: ビワハイジ (Caerleon)

厩舎: 松田博 (栗東)

主戦: 安藤勝

SHP: 先行△、末脚◎、切れ◎

12/14 阪神: 阪神JF①<1600m67.3☆>

11/15 京都: 未勝利戦①<1600m62.0☆>

10/26 京都: 新馬戦③<1800m60.9★\$>

新馬戦は超スローの流れを後方から行って、上がり3F11.3-11.9-11.0のレースラップを33.5秒の末脚で追い上げた。特に一番速くなったラスト1Fで先頭の馬を4馬身くらい詰めており、ということでは上がり11秒台半ばの脚を2F使ってなお上がり10.3秒くらいの末脚を使ったことになり、類稀な能力を垣間見せた内容だった。

未勝利戦は引き続きテンの行き脚のなさに課題を感じさせつつも、コーナーを枠なりに内で脚を溜めて直線で外に進路をとると軽い合図だけで楽に突き抜けた。

阪神JFはミドルペースの流れを4角でかなり外に振られてしまうが、それをものともせず末脚を伸ばし、残り200mの時点で楽な手ごたえで先頭に立ちそのまま楽勝した。

阪神JFでようやく力を解放した感じだが、まだ楽勝リスクは残っているし、当時の阪神の馬場が外差し通用の馬場だったとはいえ安全策を採り大外を回したロスがあったはずで、現状牝馬の中では抜けた存在と見てよい。ウオッカに続く牝馬のダービーVも夢物語ではない。

2. ロジュニヴァース 牡

父: ネオユニヴァース

母: アコースティック (Cape Cross)

厩舎: 萩原清 (美浦)

主戦: 横山典

SHP: 耐久○、末脚◎

12/27 阪神: ラジオ NIKKEI 杯2歳S①<2000m66.7☆>

10/04 札幌: 札幌2歳S①<1800m64.7☆>

07/06 阪神: 新馬戦①<1800m58.2★S>

新馬戦は道中3, 4番手集団にいて直線で外に出して、後方から追い込んできたプロスアンドコンズを振り切って勝利した。札幌2歳Sは休み明けだったが、厳しい流れを中団待機してイグゼキュティヴ、モエレエキスパートを相手に差し切り勝ち。

ラジオ NIKKEI 杯はまた休み明けでの出走となったが、ハイラップを刻んで逃げるリーチザクラウンをマークして直線で4馬身差をつける快勝だった。

ラジオ NIKKEI 杯も休み明け、着差もついており楽勝リスクを残した。指数固定しないままでここまで強くなるのか。弥生賞から皐月賞の王道ローテを目指すのだろうか、皐月賞までは堅実な好走が期待できそうだ。

3.リーチザクラウン 牡

父:スペシャルウィーク

母:クラウンピース(Seattle Slew)

厩舎:橋口(栗東)

主戦:武豊

SHP:先行◎、耐久△、末脚○、切れ◎

12/27 阪神:ラジオ NIKKEI 杯②<2000m65.1>

12/07 阪神:千両賞①<1600m61.7S☆>

11/16 京都:未勝利戦①<1800m66.3☆>

10/26 京都:新馬戦②<1800m59.1★\$>

新馬戦はブエナビスタもいたレース。この馬も上がり 33.6 の脚を使えていて末脚能力を評価できる内容だった。

圧巻だったのは続く未勝利戦。抑えがきかず先頭に立ってレースを進めると、未勝利戦で馬券に絡んだことのある馬も複数いるメンバーを相手に大差をつけて逃げ切った。勝ち時計 1.47.4 は同日の黄菊賞(ジェルミナル)の勝ち時計 1.48.7 を 1.3 秒上回り、能力の高さを示した。

千両賞は賞金稼ぎのための出走で、カイシュウボナンザやピースピースを相手に安藤騎手が抑えの効いた逃げで上がり最速を出して完勝。指数計算からしても余力はかなりあったはず。

ラジオ NIKKEI 杯では北海道王者のロジュニヴァースと対決し完敗してしまったが、時計のかかるフラットな馬場でハイペースの逃げを選択してしまったことにより酌量の余地はある。

弱点が明らかになったことで、G1を勝てるかまでは微妙な気もするが高速馬場ならチャンスはあるかもしれない。もちろん、クラシック戦線の重賞は好戦が期待できる。

今年は少ないが能力が抜けていると思う上記3頭だけのピックアップとした。

▲軸格付けの前半戦考察

若駒分析ナビの読者の方から、軸格付けの結果をまとめてほしいというご要望がありましたので、私の研究分析のためにもこれまで若駒分析ナビで軸格付けをつけて展望や予想をお送りしてきました前半戦の格付け馬の結果をまとめてみました。

「軸格付け・結果内訳表」→<http://baryutensei.com/report/jiku0901-1.pdf>

「軸格付け・結果集計表」→<http://baryutensei.com/report/jiku0901-2.pdf>

注1)便宜上、1CはDのほうにまとめて集計しています。

注2) 1C以下のレースでは、指数展望や予想時に「1番人気想定」として記載した馬ではなく、実際に1番人気になった馬で〔 〕内の評価をしています。

思ったより軸格付けの精度が悪いなあと思っいろいろ考えてみたところ、高格付の敗退馬を出した 1200m戦と中京戦を全て除外してみたところ、以下の集計表が得られました。確かに、自分の中でも 1200m戦での軸格付けはいまいち信用できなかったのですっきりしました。中京も予想通りに行くことが少ないですし納得です。

「軸格付け・結果集計表(1200m、中京除く)」

→<http://baryutensei.com/report/jiku0901-3.pdf>

この表からわかること。

1. 軸格付け2C以上の軸馬の複勝を平買いするだけでプラスにはなる。

(JRAの元返し削減戦略の影響だろうが、元返しになることはほとんどなく、堅そうな1番人気の複勝でも110円ついている。A、B軸の複勝率は86%に達しており、あと5%を埋められる堅い馬を見極める技術を持てば新たな馬券術を生み出せるかも)

2. 軸格付けが下がるほど3連単平均配当は上昇する。

(A~B軸で10万以上馬券が出る可能性は約11%だが、C軸で25%、D軸で30%に上昇する。以前調査した時にはD軸の〔 γ 〕、〔 δ 〕では3連単10万以上馬券の出る確率が50%以上あったはずだが、低くなっている。買うほうが上手くなったのかもしれないが、いずれにせよ好配当を狙うならD軸レースなのは間違いない。30万超馬券はA、B軸では出現すらしていない)

1200m戦及び中京戦が苦手であることを自覚して、勝負を控えたりこの舞台で精度が高くなる新しい予想法を開拓したいと思います。

おわりに

最後までお読みいただき、ありがとうございました。今期はブエナビスタ、ロジユニヴァース、リーチザクラウンの3頭が他馬を引き離している状態で、春のクラシックもこの馬たち中心に展開していくと思われます。参考にさせていただければ幸いです。

では、皆様の今年の馬券成績がより良いものになることを祈念致します。今後とも競馬の楽しみを増幅させる情報媒体として、若駒分析ナビゲーションをご活用頂ければ幸いです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

なお、私の情報発信については「馬流天星」(サイトのトップページに個人的な予想スケジュール等を書く若駒ナビ掲示板があります。また、競馬に対する精神論等を語っているメルマガもあります。)も併せてお使い頂ければ良いかと思しますのでご紹介しておきます。

馬流天星HP→<http://baryutensei.com/>

馬流天星メルマガ→<http://archive.mag2.com/0000140588/index.html>

2009年1月4日 スカイポット